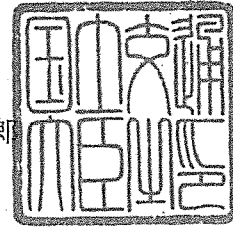


認定書

国住指第 1949 号
平成 24 年 10 月 18 日

積水化学工業株式会社
代表取締役社長 根岸 修史 様

国土交通大臣 羽田 雄一郎



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-0623
2. 認定をした構造方法等の名称
ケーブル・電線管・給水管・排水管／黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく積層紙・セメントモルタル充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

ケーブル・電線管・給水管・排水管／黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく積層紙・セメントモルタル充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

2. 申請仕様の寸法等：

申請仕様の寸法等を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法等

項 目		申 請 仕 様
開 口 部	形状	矩形又は円形(φ200mm以下)
	面積	0.07㎡以下
占 積 率 (開口面積に対するケーブル・配管の 断面積の総合計の割合)		24.2%以下 ただし開口部面積が0.0283㎡以下の場合、44.0%以下
貫通する壁の構造等		ALCパネル又は鉄筋コンクリート 厚さ75mm以上

3. 申請仕様の構成材料：

申請仕様の構成材料を表2に、配管の構成材料を表3に示す。

表2 申請仕様の構成材料

項 目		申 請 仕 様		
熱膨張性シート	材料	黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく積層紙		
	寸法	総厚さ：0.64mm以上 幅：60mm以上		
	使用箇所	片側の壁面に寄せてさや管及びさや管外部のケーブルに巻き付け (貫通部内に50mm以上埋設)		
	基材	材料	アルミニウムはく積層紙	
		厚さ	0.14(±0.015)mm	
	シート	材料	黒鉛含有ブチルゴム	
		厚さ	0.5mm以上	
		組成 (質量%)	配合は企業秘密とさせていただきます	
充てん材	材料	セメントモルタル		
	組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント 25 砂 75 (日本建築学会建築工事標準仕様書 JASS 15 左官工事に準拠)		
	使用量	隙間を密に充てん(充てん厚さ75mm以上)		

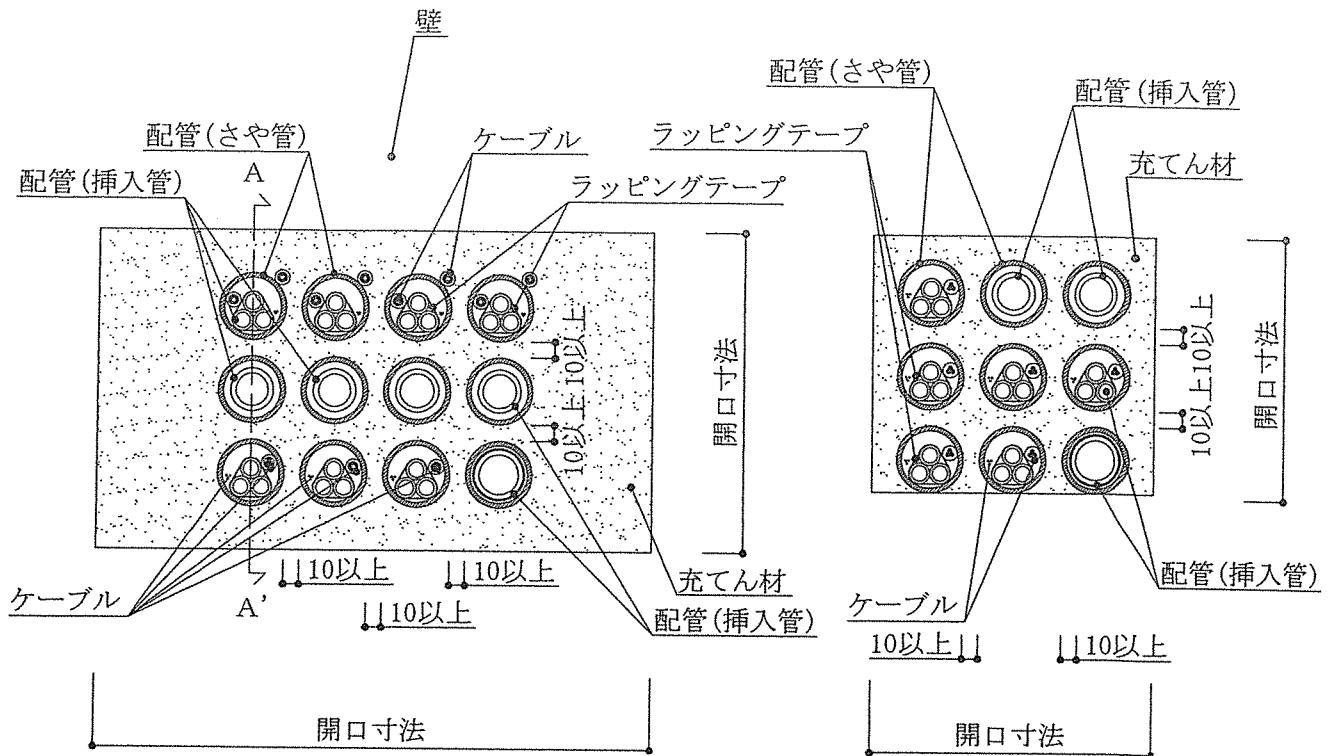
表3 申請仕様の配管の構成材料

項目	申請仕様				
給水管 ・ 排水管 (以下、 配管と いう)	さや管	材料	合成樹脂製可とう管(さや管) (ただしJIS C 8411(CD管)と同等の性能:可とう性、圧縮復元性、耐 衝撃性、耐熱性、絶縁耐力、絶縁抵抗) 材質:ポリエチレン樹脂		
		外径	φ42.0mm以下(ただし楕円形状は36.5×23mm以下)		
	挿入管	I	配管	材料	①、②又は③ ①架橋ポリエチレン管(JIS K 6769) ②水道用架橋ポリエチレン管(JIS K 6787) ③一般用ポリエチレン管(JIS K 6761)
				外径	φ27mm以下(さや管に挿入できる配管本数は3本以下)
				厚さ	3.25mm以下
		ラッピング テープ(あり 又はなし)	材料	本体:アルミニウムはく張ポリエチレンフィルム 粘着テープ(固定用)	
			寸法	本体:幅30(±3)mm以上、厚さ0.023(±0.0023)mm 粘着テープ:幅10(±1)mm、厚さ0.025(±0.0025)mm	
			使用箇所	さや管に挿入される配管(挿入管)を複数本束ねる場合	
		II	配管	材料	①又は② ①ポリブテン管(JIS K 6778) ②水道用ポリブテン管(JIS K 6792)
				外径	φ27mm以下
				厚さ	2.9mm以下
		III	材料	軟質塩化ビニルライニングステンレス鋼フレキシブル管 表面材:軟質ポリ塩化ビニルコンパウンド(JIS K 6723) 内管:冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯(JIS G 4305)	
	外径		φ32.3mm以下(内管φ30.8mm以下)		
	厚さ		1.0mm以下(表面材0.75mm以下、内管0.25mm以下)		
ケーブル	導体(又は芯線)の断面積		1本あたり	1.25mm ² 以下	
			総合計	21.75mm ² 以下	
	総有機量		0.868kg/m以下		
	導体(又は芯線)の種類		銅、ガラス繊維、その他これらに類する不燃性の材質		
	絶縁体	ポリエチレン系		厚さ	0.8mm以下
		塩化ビニル系			
		ポリオレフィン系			
		ゴム系			
介在 (円形に調整する充てん材)		紙、ジュート、又はポリオレフィン			
シース	ポリエチレン系		厚さ	1.5mm以下	
	塩化ビニル系				
	ポリオレフィン系				
	ゴム系				

4. 申請仕様の構造説明図:

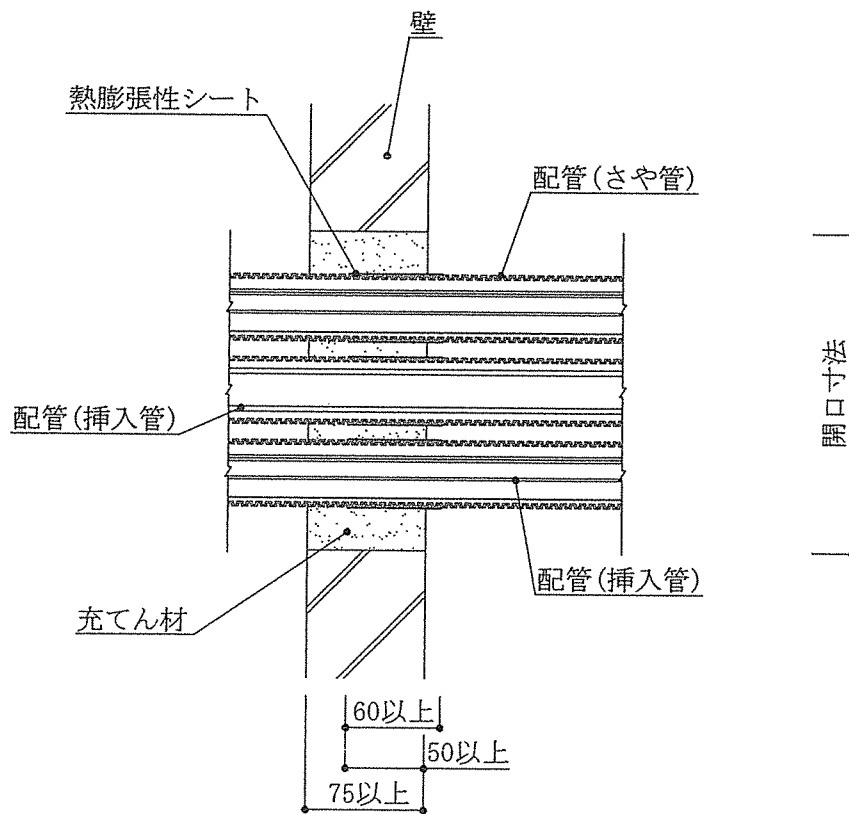
申請仕様の構造説明図を図1及び図2に示す。

単位 mm



立面図(大開口の場合)

立面図(小開口の場合)

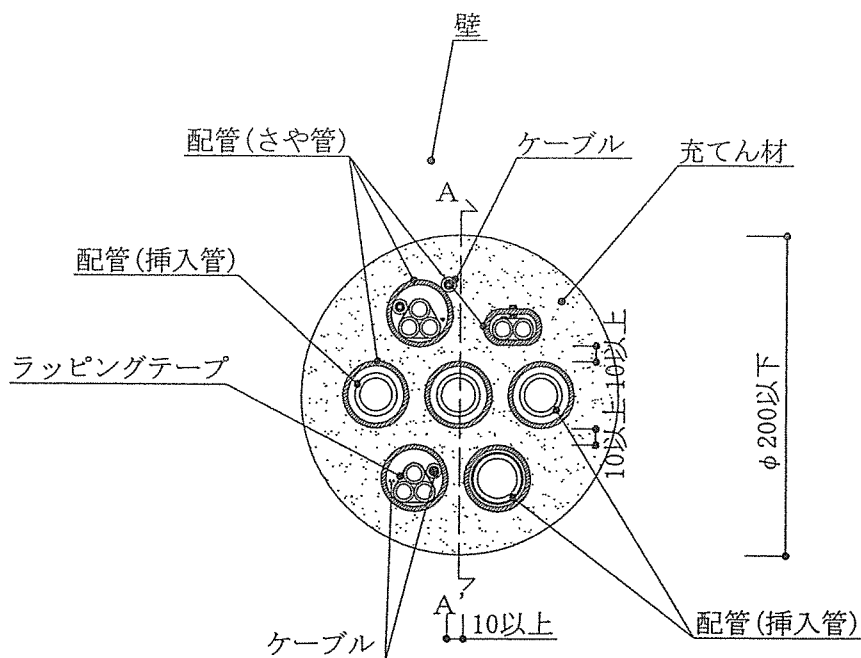


A-A' 断面図

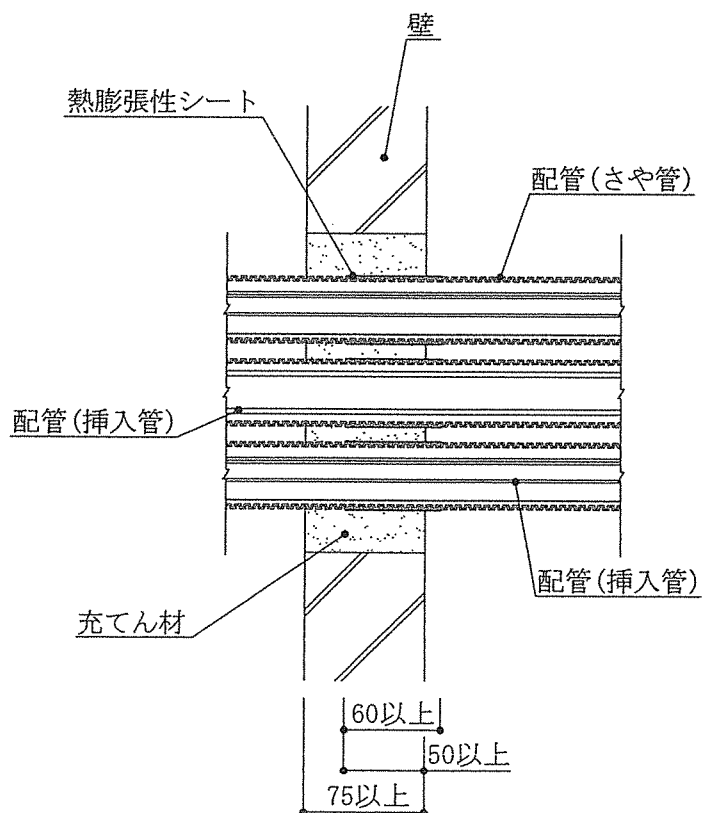
1) 矩形の場合

2) 配管(さや管・挿入管)・ケーブル配置例

図1 構造説明図



立面図



A-A' 断面図

- 1) 円形の場合
- 2) 配管(さや管・挿入管)・ケーブル配置例

図2 構造説明図

5. 施工方法：

施工図を図3及び図4に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 開口部の確認

開口部の開口面積、配管・ケーブル等の寸法(給水管・排水管・ケーブルの断面積及び種類等)、占積率、壁の仕様、壁の厚さ等が申請仕様に適していることを確認する。

(2) 熱膨張性シート巻付け位置の設定

配管の熱膨張性シートを巻付ける位置に墨出しをする。墨の位置は巻付けた熱膨張性シートが確認でき、かつ熱膨張性シートが50mm以上貫通部に入る位置となるようにする。

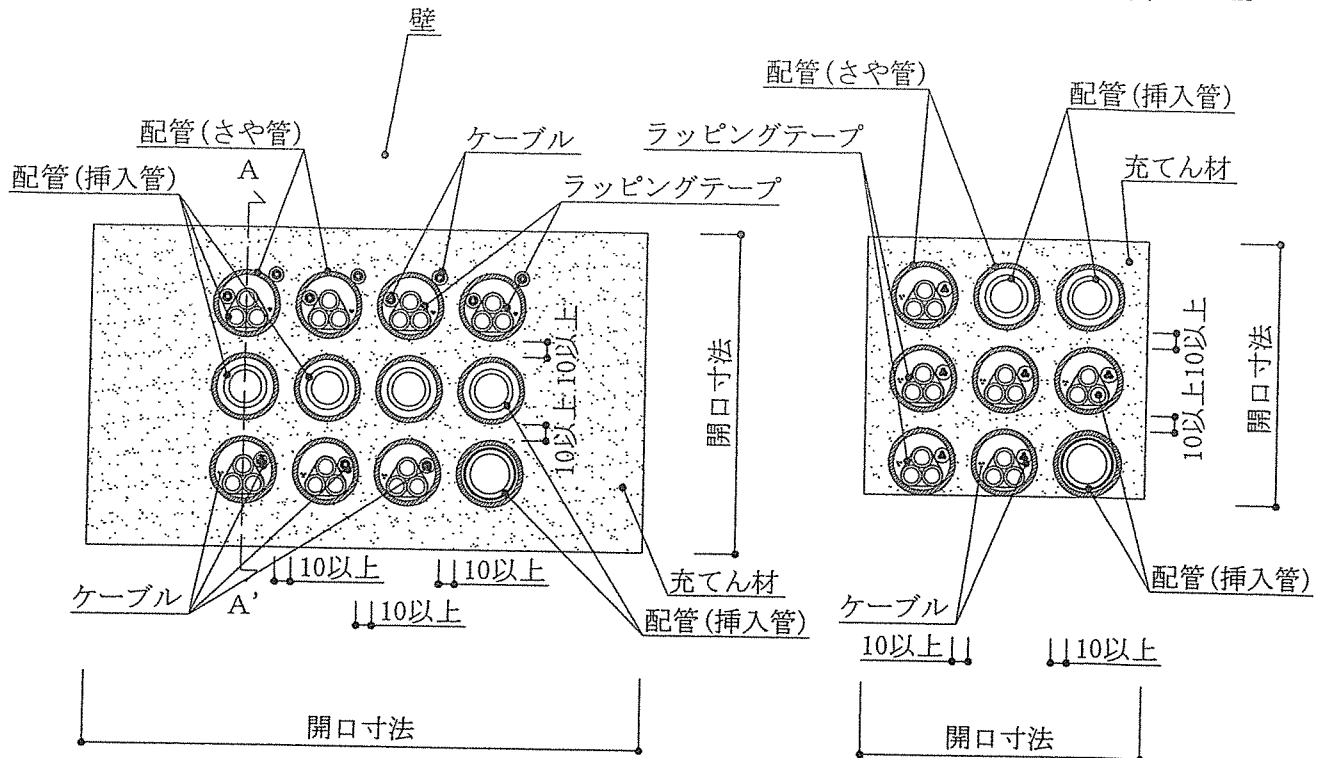
(3) 熱膨張性シートの巻付け

上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを巻付ける。なお、熱膨張性シート巻付けの初端と終端は隙間無く必ず接するように巻付けるか、又は端部を重ね合わせる事。

(4) 開口部の埋戻し

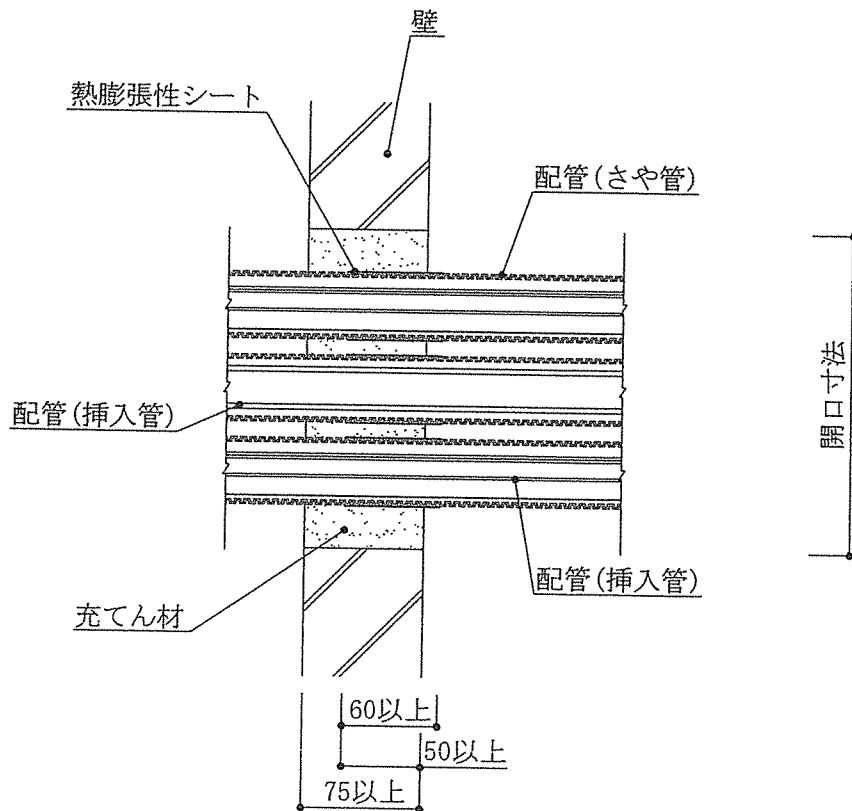
- ・配管を所定の位置に設置し、隙間を充填材(セメントモルタル)で密に充填する。なお必要に応じて、開口部に直置きすることができる。
- ・原則、配管と配管の距離は10mm以上離して設置する。

単位 mm



立面図(大開口の場合)

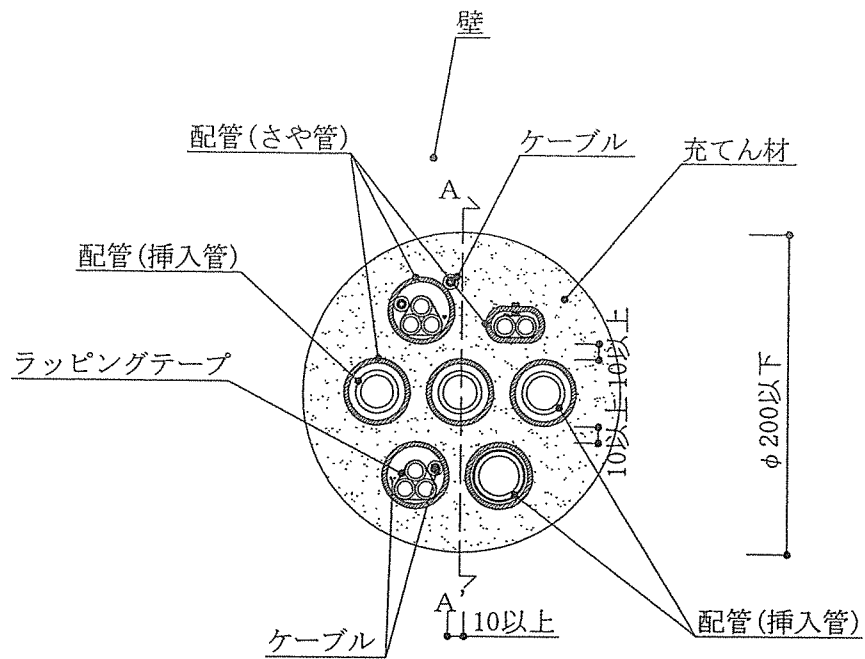
立面図(小開口の場合)



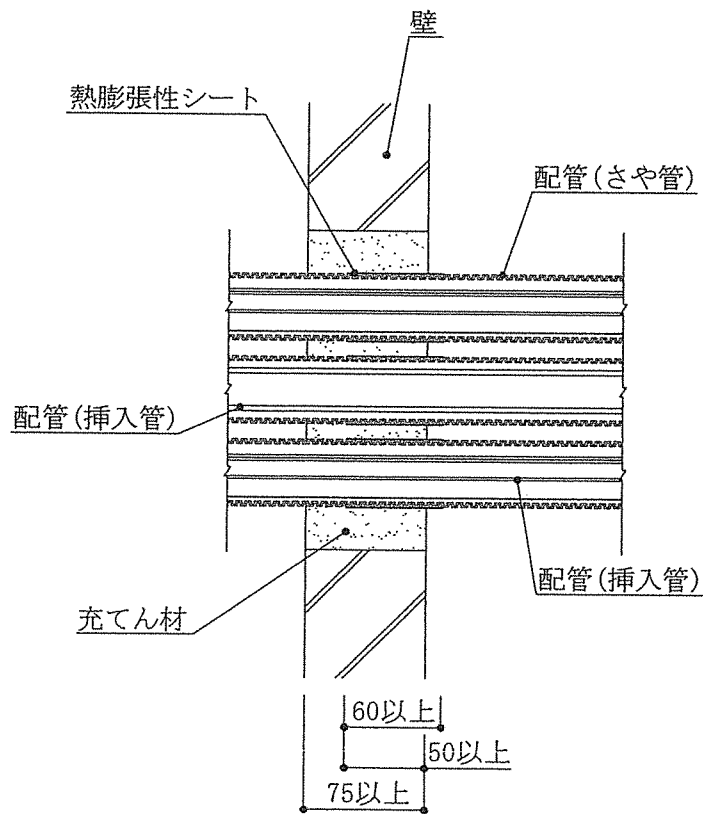
A-A' 断面図

- 1) 矩形の場合
- 2) 配管(さや管・挿入管)・ケーブル配置例

図3 施工図



立面図



A-A' 断面図

- 1) 円形の場合
- 2) 配管(さや管・挿入管)・ケーブル配置例

図4 施工図